



医療経営士ニュース | これからの医療現場を担う経営人材のための機関紙

MMS NEWS

2024 12月号
Vol.166
毎月1回発行(通巻166号)
編集:日本医療企画

一般社団法人日本医療経営実践協会 〒104-0032 東京都中央区八丁堀三丁目20番5号 S-GATE八丁堀9F TEL.03-3553-2906 http://www.jmmpa.jp/

第13回「全国医療経営士実践研究大会」福岡大会

11年ぶりの九州開催に200人が参加!

医療DXの現状や医療職の変遷など 多彩な角度で医療経営を議論

一般社団法人日本医療経営実践協会は12月1日、第13回「全国医療経営士実践研究大会」福岡大会をオリエンタルホテル福岡で開催した。大会テーマは「医療経営士の働き方が病院を変革する—今、求められるマネジメント能力と具体的実践方法」。当日は約200人の参加者が集い、演題発表者16人に向けた話題が盛り込まれる大会となった。



[右]開会挨拶を行った原勝則代表理事 [中]大会運営委員長の矢野正子氏 [左]特別講演に登壇した中島直樹氏

働き方改革を受けて 何をすべきかを問う

冒頭で挨拶した原勝則・(一社)日本医療経営実践協会代表理事は、まず2024年1月に起きた能登半島地震で亡くなった方々への哀悼の意を述べ、医療経営士の力を結集して被災地と医療機関の支援に全力を挙げて取り組むことを表明した。そのうえで、24年4月から施行された医師の働き方改革関連制度の施行に触れ、「働き方改革にあたり、医療経営士は何をすべきか。医療経営士自身の働き方を見直し、医師ら医療従事者がより働きやすい環境

を作り、広く医療界を発展させていくことが重要だ」と呼びかけた。

続いて大会運営委員長を務める矢野正子・医療経営実践協会九州支部支部長(聖マリア学院大学名誉学長)が登壇し、「医療機関の経営課題はいろいろ出てきていると思う。ご参加いただいた皆様には、情報交換し、お互いの将来の夢を描いていただきたい」と挨拶した。

中島直樹・九大教授 「臨床系学会はAI一色」

特別講演は、中島直樹・九州大学病院副院長長/メデイカル・インフォメーションセンター長/教授/国際医療部長が「医療DXがもたらす新しい病院経営」の演題で、臨床現場におけるAI活用状況などにも触れながら医療機関でのDXの現状について解説した。このなかで中島副院長は「医療施設も企業と同じ

く、経営・人事などには改善サイクルの導入は可能だが、医療サービスに改善サイクルを入れることは困難」と指摘した。その背景として、「医療の設計図が医師の頭の中にしかない」点を挙げる。それによって一度導入したものは不要と思われる業務でも排除しづらくなるため、業務量過多、さらには患者の在院日数延伸につながる弊害になっていることを指摘した。

そうした状況を打開するためにも「良い改善サイクル」導入の必要性を強調した。実際、臨床系の学会は「AI活用一色」だという。ただそのためにはデータの品質が重要で、カルテ情報は記載形式がバラバラであるのに対し、サマリーは他人に見せることが前提であることから活用の余地があると見た。またクリニックパスもそうした診療データの欠陥を補えるという。現在、九州大学病院をはじめ

2025 | 21(土) ~ 228(金)

WEBオンデマンド配信

参加費 医療経営士(会員)……無料

医療経営士の皆様には視聴用アドレスを送付します

ささおか・たいし ●医療法人忠恕 春日部在宅診療所ウエルネス 理事長・院長。医学博士、日本内科学会総合内科専門医、日本循環器学会循環器専門医。1989年北里大学医学部卒業。大学病院にて循環器内科部長、介護施設長を経たのち、精神科病院で内科医師として勤務。診療経験は小児科から内科まで幅広く、大学院では経営管理研究科で介護医療制度や経営管理についても学んだ。2018年、これまでの多様な経験を生かすため、在宅診療所を開業。近著に「現場で使えるケアマネの医療知識便利帖」(翔泳社/監修・執筆)。

一般社団法人日本医療経営実践協会 主催

人間力を生かした 在宅医療

講師 笹岡大史 先生 医療法人忠恕 春日部在宅診療所ウエルネス 理事長・院長

令和7年
新春特別
講演会



【お問い合わせ先】一般社団法人日本医療経営実践協会 ☎03-3553-2906 http://www.jmmpa.jp/



演題発表表彰式では登壇者全員に記念品、受賞者には表彰状が贈呈された

4病院で、データ抽出などアウトカムを念頭に置いた入院パスなどを開発していることなども紹介した。

続く基調講演では矢野大会運営委員長が「医療経営士が切り拓く現場感覚・現場主義の道標―医療経営士という職域の理念や理論をどう描いていくか―をテーマに講演。自身が厚生省看護課長を務めるなど看護職の制度的発展に尽力してきたことも踏まえながら、看護の大学の増設促進や専門看護師、訪問看護師の育成などが看護職の今日の発展につながったと振り返った。そうした歴史を踏まえつつ、医療経営士について

は「実践研究の領域、実践研究の方法などについてさらなる研究・開発が進み、職域や専門性の構築が期待される」と期待を語った。

続いて医療経営士による演題発表が行われた。今大会は1日の大会では最多となる16名が登壇、「医療経営士による病医院経営改善・改革取り組み事例・具体的実践方法」の演題発表テーマに沿って自身の成果

賞	氏名	所属・肩書	演題タイトル
審査委員 奨励賞	岡本光順	埼玉医科大学国際医療センター 副院長、クオリティマネジメント センター長、消化器外科教授	安全で質の高い外科治療を目的とした 組織マネジメント
	佐竹直也	医療法人松田会 事務部 部長	人間関係がカギとなる病院経営 ～1病院の統合と変革の実践報告～
チャレンジ 賞	佐賀友美	医療法人深仁会 深仁会真駒内 在宅クリニック 訪問リハビリテーション科	新たな提供エリアへの挑戦 ～まごくり訪問リハ事業における 拡大戦略とその成果～
ユニーク 賞	盛田滝斗	公益社団法人日本海員救済会 病院名古屋掖済会病院 広報部 課長補佐	病院ERドキュメンタリー映画化における 医療経営士としての広報活動
インパクト 賞	矢野恵美	社会医療法人加納岩 財団事務局 経営企画室 兼 財務課 副課長	予算管理の重要性 ～どん底からの再生ストーリー～
九州支部長 賞	山内剛志	社会福祉法人恩賜財団済生会 みすみ病院 情報システム室長 兼 医事室係長	「コミュニティホスピタル」が 日本を元気に ～今、医療経営士が取り組むこと～

を報告。ハイレベルなプレゼンテーションが展開され、厳正なる審査の結果、6人の医療経営士が各賞を受賞した(表)。それぞれの発表内容の詳細については、本大会の詳細に掲載する2025年2月発行予定の会報誌『理論と実践』にてお伝えする。

審査委員長を務めた吉長成恭(一社)日本医療経営実践協会理事は、演題発表における各医療機関の取り組みについて「客観的に現状を分析し、チャンスに変えて

いった」と講評し、それぞれの現場で奮闘した医療経営士の取り組みを称賛した。

プログラムの最後には、第6回「医療経営に関する研究助成」において採択された金城悠貴氏(社会福祉法人恩賜財団済生会横浜市東部病院DX推進室副室長)と菊岡正芳氏(日本経済大学大学院フューチャー・マネジメント研究所研究員)の両名による研究助成最終報告が、尾形裕也座長(九州大学名誉教授)のもとで行われた。



[右] 演題発表審査委員長の吉長成恭氏
[左] 全国から医療経営士が参集した福岡大会

好評配信中 各10分のショート動画でスキマ時間を有効活用! WEB講座

日本ヘルスケア
経営学院
公開講座

医療現場のコミュニケーション&
ハラスメント対応スキルアップ研修



●講師
石井富美氏
(多摩大学医療・介護ソリューション
研究所副所長)

講義内容

- ①ブランディングの鏡
- ②医療現場のトラブル対応
- ③医療現場のハラスメントの仕組みと対処法
- ④コミュニケーションスタイルを知ろう
- ⑤コミュニケーションスキルアップ

- ▶受講料:4,400円(税込)
- ▶講義時間:各10分程度(全5本)
- ▶受講期間:20日間

お申込みはコチラ➡



第25回みやぎ仙台ネットワーク

必要なことを確実に実行していくための
土壌づくりが改革を実現させる第一歩

日本医療経営実践協会東北支部みやぎ仙台ネットワークは12月13日(金)、仙台赤十字病院の菅野雅博氏を講師に招き、25回目となる研究会「地域連携をやりながら組織改善、病院経営のいろいろ」を開催。2023年4月に現在の院長とともに着任し、施設の老朽化、医療再編、経営悪化という課題を抱えていた病院の改革を二人三脚で進めてきた菅野氏が、その改革の具体的な内容を医療経営士に伝えた。

しっかりと現状を把握したうえで
全職員を巻き込んだ改革を進める

着任当時、一人ひとりのスタッフは皆真面目で素直だが全体として古い体質を引きずっており、業務も複雑できちんと管理されていないことがわかり、組織をスクラップビルディングするところからスタートしたという菅野氏。まず院長には病院全体の概要を把握するため、医師、看護師長全員と課長職以上の役職者とそれぞれ30分面接を実施してもらったという。

一方、菅野氏は自分の立場を固めるためにも早期に自身の実績をつくる必要があった。そこで、まずは他院との連携アクションとして医師による返書を2週間以内に返すことを徹底させ、70%に満たなかった返書率を98～99%にまで向上。当日紹介のスキームについても総合診療科ですべてまず受けて、確定診断したうえで該当科へコンサルテーションするという形に変えた。さらに組織再編として会議の見直しを行い、院内で行われていた全会議の目的と参加メンバーを洗い出したうえで不要な会議を削減。参加者数も減らし、定刻通りの開始、資料の事前配布、議事録の簡略化を進めた。

また「上層部だけが騒いでもダメ。7～8割の職員の意識を変えなければ」という思いから全員参加型のブレインストーミングを実施したという菅野氏。全職員が病院経営の危機的状況を把握し、意識改革を行い、この危機を乗り越える方法を考えていくような風土を醸成した結果、改善に向けて1,000件を超えるアイデアが集まり、ボトムアップ型の経営改善が実現できたとその成果を述べた。

愚直に進めていくことこそが
改革を実現させるためのカギ

さらに人件費を下げるために大学医局とも交渉し月140万の削減に成功、検査委託契約の見直し、備品・材料の一元管理等で経費削減に努める一方で、職員の保育所については2人目以降の負担を減らすようにするなど、職員満足度を上げる取り組みも行うことで業務改善を進めた。

その結果、2024年度は単月黒字も複数回達成するなど、経営改善を成し遂げた菅野氏。まとめでは即断即決できる院長のリーダーシップと、職員間・部署間のコミュニケーションと情報の共有に加え、責任の明確化が不可欠であると述べ、「経営改善にきれいごとはない。愚直に泥をかぶる仕事をやっていくしかない」と講

演を締めくくった。

その後に行われた質疑応答では、「職員には現状維持バイアスがあったと思うがどうやって打破していったのか」「全職員参加型のプレストは参加を促すためにどのような声掛けを行ったのか」「反対もあったと思うが、それでも改革を進めていった原動力とは何だったのか」「看護師は経営に関心がない方も少なくないと思うがどうやって参加させたのか」といった実践的な質問が多く投げかけられ、菅野氏も一つひとつの質問に真摯に回答、終了時間ギリギリまで質問が寄せられ、参加者の関心の高さが伺われた。



自身の取り組みを一つひとつ丁寧に解説した菅野氏

第3回 医療経営士実践研究大会 東北支部大会

医療経営士の働き方が病医院を変革する

～今、求められるマネジメント能力と具体的実践方法～

in
仙台

実践報告発表者募集中!

詳細は
コチラ

プログラム

- 特別講演「病院を変革するための医療経営士の働き方」
【講師】石井富美氏(多摩大学医療・介護ソリューション研究所副所長)
- 第13回「全国医療経営士実践研究大会福岡大会」演題発表再現
【登壇者】金子瑛氏(福島赤十字病院事務部経営企画課主事/医療経営士2級)
佐竹直也氏(医療法人松田会事務部長/医療経営士2級)

- ▶日時: 2025年2月22日(土)
- ▶場所: ハーネル仙台
(4階青葉)
- ▶参加費: 会員2,000円/
一般3,000円

事務局 掲示板

第6回(2024年度)懸賞論文
「日本医療経営実践賞」受賞記念講演を
特設サイトにて公開開始

2024年度「医療経営に関する研究助成」で懸賞論文「日本医療経営実践賞」優秀賞を受賞した梅本豊氏(医療法人恒昭会藍野病院地域医療連携センター長/医療経営士3級)の受賞記念講演「『入院依頼の増加』を図り、『入院患者獲得』につなぐ軌跡～病院競争の生存戦略 地域医療連携センターの強化～」の動画を特設サイト上で公開しました。

【「医療経営に関する研究助成」特設サイト】

https://www.jmmpa.jp/association/archive/grant_7/cl/

会報誌『理論と実践』投稿募集中
自分の声を会員に届けよう

当協会が発行している会報誌『理論と実践』では、会員の皆さまからの投稿を募集しています。日頃の職務における疑問や悩み、業務改善へ向けたアイデア、病院経営や医療政策・制度に関する論文や問題提起等、内容は自由です。採用原稿については薄謝を進呈いたします。お気軽にご投稿ください。

【お申し込み】

E-mail : info@jmmpa.jp

PICK UP 研究会

協会本部

令和7年新春特別講演会は在宅医の笹岡大史氏が登壇
2月1日(土)より会員に向けWEB配信

毎年医療業界内外から第一線で活躍されている有識者を招き、会員にとって刺激となる内容を講演いただく「新春特別講演会」。令和7年は医療法人忠恕 春日部在宅診療所ウエルネス理事長・院長として在宅医療に取り組まれている笹岡大史氏の登壇が決まった。

テーマは「人間力を生かした在宅医療」。大学病院の循環器内科部長や介護施設長等幅広い経験を持ち、小児科から内科まで豊富な診療経験を有する笹岡氏は、2018年に多様な経験を活かすべく在宅診療所を開設。まだ担い手の少ない障がい児や心臓疾患患者の訪問診療も手がける笹岡氏の活動のベースにあるという「人間力」について、在宅医療の最前線での活動と合わせてお話しいただく。

医療経営士(会員)は事務局より送付する視聴用URLから無料で視聴できる。2月1日(土)より視聴開始。

【開催概要】

■会員限定オンデマンド配信期間
2025年2月1日(土)～2月28日(金)

【講師】

笹岡大史先生

ささおか・たいし ●医療法人忠恕 春日部在宅診療所ウエルネス 理事長・院長、医学博士、日本内科学会総合内科専門医、日本循環器学会循環器専門医。1989年北里大学医学部卒業。大学病院にて循環器内科部長、介護施設長を経たのち、精神科病院で内科医師として勤務。診療経験は小児科から内科まで幅広く、大学院では経営管理研究科で介護医療制度や経営管理についても学んだ。



2018年、これまでの多様な経験を生かすため、在宅診療所を開業。近著に『現場で使えるケアマネの医療知識便利帖』(翔泳社/監修・執筆)。

日本医療経営実践協会 支部研究会スケジュール

開催日	開催支部	テーマ	講師
2025年1月10日(金)	東海	静岡県東部医療経営研究会 「気候変動による疾病負荷の変化と医療環境の転換」ほか	鈴木 秀 氏(日本医療政策機構)ほか
2025年1月15日(水)	関西	“イチ”からわかる 病院経営オンライン塾 第3回「病院の内部環境分析を学ぶ」	古株靖久氏(有限責任監査法人トーマツ)
2025年2月19日(水)	関西	“イチ”からわかる 病院経営オンライン塾 第4回「病院経営戦略の策定と実行を学ぶ」	古株靖久氏(有限責任監査法人トーマツ)
2025年2月22日(土)	東北	第3回医療経営士実践研究大会東北支部大会 医療経営士の働き方が病医院を変革するin 仙台	石井富美 氏(多摩大学医療・介護ソリューション 研究所副所長)ほか
2025年3月19日(水)	関西	“イチ”からわかる 病院経営オンライン塾 第5回「病院経営の改善手法を学ぶ」	古株靖久氏(有限責任監査法人トーマツ)

※日程等は変更になる場合があります。詳細は協会ホームページでご確認ください。

医療経営士 3級 資格認定試験

受験エントリー

2025年
1月16日(木)
まで受付中!初の
IBT試験を
実施!

医療経営士 資格認定試験 日程

試験日
2025年 2月16日

受験エントリー期間 2024年12月10日(火)～2025年1月16日(木)

受験料支払締切日 2025年1月17日(金)

※受験エントリーにはマイページへの登録が必要になります。詳しくは協会ホームページをご確認ください。

第44回「医療経営士3級」

受験料 ※手数料別途	9,100円(税込)
試験方式	IBT(Internet Based Testing)方式
受験資格	年齢、学歴、国籍等の制約はありません
試験会場	ご自宅のPCを使用して受験できます (会場での実施はありません)

推奨環境のチェック等、詳細については協会ホームページをご確認ください。